

子どもたちがデザイン まちの PR 看板が完成



11月5日に看板の設置場所を訪れた子どもたち。「妹背牛の魅力を広く知ってほしい」と話しています。

妹背牛町は、町内の小中学生がデザインした、まちのPR看板を道道深川雨竜線沿いに設置しました。子ども議会の提案が実現した形で、かわいらしいデザインの看板が道ゆくドライバーの目を楽しませてします。

看板の設置は、昨年9月に開かれた「子ども議会」で、当時の妹背牛小学6年生が「妹背牛に立ち寄ってもらえるよう、道道沿いに目立つ看板をつくってほしい」と提案したことがきっかけです。

町営妹背牛墓地の向かいにある看板は、10月に完成。高

さ約7メートルの鉄製で、上部と支柱2本の間にある看板のデザインを、小学5年生から中学1年生までの3学年がパソコンの編集ソフトを使って分担しました。

上部の看板には、米どころを象徴する稲穂の写真や町のキャラクター「ウッチー」のイラストをあしらひ、目を引くデザインに。支柱の間にある看板では、カーリングや温泉など妹背牛町の魅力を表現しました。看板の前面と後面のほか、側面にも異なるデザインを施しており、細部までこだわっています。

地域おこし協力隊通信

妹背牛町に在籍する地域おこし協力隊員の活動状況などを紹介します。

グエン・カン・リンさん
ズオン・ティ・フオンさん

児童と給食を味わうフオンさん
一緒にゲームで遊ぶリンさん ←



妹背牛町の皆様、こんにちは！令和6年4月より地域おこし協力隊に着任し、妹背牛町で2年目の活動を迎えます、リンと申します。

「北海道の雪を見たい」という夢を叶えるため、令和4年5月に来日。東川国際文化福祉専門学校で2年間、日本語を勉強しました。卒業後は、地域おこし協力隊の仕事を新鮮でやってみたいと思い、妹背牛町に引っ越しました。

私は、主に妹背牛町に住んでいるベトナム人技能実習生の生活サポートや町民の方にベトナムについて知ってもらうイベントを担当しています。ここで仕事をしながら、ゆっくりとマイペースに生活し、親切な人たちに会うことが楽しいです。

10月22日に妹背牛小学校で行われた地域参観日で、私たち（フオ

ンとリン）は国際交流を兼ねた授業を企画しました。毎年いくつかの伝統的な遊びや踊りを紹介することで、子どもたちがベトナムの文化を体験するという内容です。

小学1年生は、ベトナムの祭りや地域の行事などでよく披露されるバンブーダンスに挑戦しました。

3年生と5年生には「バインドウア」（「ボールと箸」というベトナムの遊び）を紹介し、一緒に遊びました。感想を聞くと、「難しいけれど、とても楽しかった」や「できてよかった」など。子供たちが楽しんでいるのを見て、うれしくなりました。

来年もたくさんのゲームや活動を考えていきますので、よろしくお願いします。